

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：横浜すきっぷ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：成川 好子	定員（利用人数）： 50名（50名）
所在地：〒221-0056 横浜市神奈川区金港町7-15 TKビル2階	
TEL：045-620-9771	
ホームページ： https://www.skip-hoikuen.com/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社俊英館		
職員数	常勤職員： 23名	非常勤職員：	5名
専門職員	保育士 23名	看護師	1名
	社会福祉士 1名	幼稚園教員免許	15名
	小学校教員免許 1名	調理師（外部委託）	3名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室、医務室兼事務室1室、調理室1室、職員休憩室	バリアフリートイレ、冷暖房、床暖房	

③理念・基本方針

【理念】

地域と手を取り合い、子ども一人ひとりを暖かな眼差しで見守り育てていける保育環境をつくる

【方針】

一人ひとりの育つ力に“働きかけ”、“信じる”“待つ”ことで花開かせる保育

【目標】

- ・自ら考え行動できる子ども
- ・生活や遊びを通して学び合える子ども
- ・他者を思いやり自分も大切にできる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

- ◆保育の理念・方針・目標に則った保育を実践する中で、不適切保育をしない取り組みを会社全体で行い、姉妹園と共に学びを深めながら保育士自身が子どもの育ちを第一に考え、全園児が楽しく過ごしやすい環境となるよう考えています。
- ◆発達に支援が必要な子どもへの関わりに力を入れ、保育士が専門的な知識を学んだり、全職員で子どもの対応を考えていく事例検討を大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月9日（契約日）～ 2024年4月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

【事業所の概要】

横浜すきっぷ保育園は、横浜駅北東口から歩いて5分ほどのビルの2階にあります。オフィスビルや商店が並ぶ地域にありますが、徒歩圏には複数の公園があり子どもたちの散歩コースとなっています。横浜すきっぷ保育園は、2013年（平成25年）4月に、株式会社俊英館によって開設されました。運営法人の保育事業部では、横浜市内で、他に2園保育園を運営するほか、首都圏を中心に保育園や児童発達支援事業所、言葉の相談室などを運営しています。園の施設としては、保育室（0・1歳児室、2歳児室、3・4・5歳児室）、厨房、事務室などがあり、1階には園庭があり、夏場には子どもたちがプールや水遊びを楽しんでいます。定員は50名（生後57日～就学前）で、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）7時～20時、土曜日7時～18時です。

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●子どもたちは主体的に遊びや活動に取り組み、のびのびと園生活を楽しんでいます

保育目標に「自ら考え行動できる子ども」を掲げ、子どもの主体性や自主性を大切に保育しています。保育室には、子どもの年齢や発達、興味に合わせたおもちゃや教材が子どもの視線に合わせて並べられていて、子どもが自分で好きなおもちゃを選び、遊べるようになっています。保育士は、子どもの表情や言葉などから子どものやりたい気持ちを汲み取り、随時保育環境を見直し、子どもの思いを形にできるようにしています。2歳児からは朝の会で子どもと話し合い、散歩の行き先や活動内容を決めるなどしています。行事では、5歳児は、子ども同士で話し合って、劇のテーマや配役、道具作りなどを行っています。晴れていれば毎日、近隣の散歩に出かけ、思いっきり身体を動かしたり、季節の自然に触れたりしています。保育士は、ままごとなどの静かな遊びとフープやボールなど動の活動を選べるように環境を整え、子どもが自由に好きな遊びができるようにしています。散歩先の公園で、子ども同士で声を掛け合い、近隣の保育園の子どもたちと鬼ごっこを楽しんだりすることもあります。このように、子どもたちは主体的に活動して様々な経験をし、園生活を楽しんでいます。

●保育士は見守りの姿勢を共有し、連携して保育しています

年度始めの全体職員会議で理念に基づく保育のあり方について説明するとともに、法人研修や園内研修、保健研修などで子どもの人権について取り上げ、職員が意識して保育にあたるようにしています。保育士は、子どもの近くで見守り、子どもの気持ちを大切に寄り添い、励ましたり、手助けしたり、やり遂げたことを褒めたりし、子どもが充足し、次のステップに進めるように支援しています。子どものやりたい気持ち、やりたくない気持ち、やりたいのにやってほしい気持ちなども受け止め、適切な働きかけをすることで、子どもが自分から行動できるようにしています。保育士は、危険がない限り子どもの行動を制止しないように努め、なぜいけないのかを分かりやすい言葉で説明し、子どもが自分で考え、行動できるように支援しています。会議などで、具体的なケースについて話し合いを重ねて方向性を共有し、皆が同じ関わりができるようにしています。話し合いを重ねる中で、意識の統一性が図られていて、訪問調査時にも子どもの小さな変化について職員同士で確認し合ったり、さりげなく入れ替わって個別対応したりと、職員間で子どもへの思いを共有し、連携している様子を確認することができました。

【改善が期待される点】

●子育て支援のあり方を工夫するなどし、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます

園は、地域への子育て支援として、園の行事に地域住民の参加を呼び掛けていますが、参加者は在園児の家族や友人に限られています。園は、老人会や幸ヶ谷子ども育みフォーラム（横浜市反町地域ケアプラザを中心とした小学校・町内会・支援団体などの集まり）と交流していて、子どもたちは、老人会の集まりで踊りを披露するなどしています。幸ヶ谷子ども育みフォーラムとのつながりを利用して公園などで読み聞かせを行うなど、子育て支援のあり方を工夫し、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます。

●キャリアパスを意識した人材育成の体制を構築していくことが期待されます

園では、職員一人ひとりの個別研修計画を作成し、園長との面談や研修参加等を行うとともに、法人の査定のための自己評価表を用い、各職員の能力を明確にし、人材育成をしています。ただし、配置、昇進、昇格等に関する人事基準は明確になっていません。職員自らが将来の姿を描くことができるような、キャリアパスを意識した人材育成の体制を構築していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

多くの保護者様が第三者評価アンケートに回答いただきましたこと、感謝申し上げます。

まず、園の満足度が非常に高く、保育方針・目標に対し多くの方が賛同できると回答していただき、驚きと共に大変恐縮しました。保育面での遊びや基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みなどが高評価で「子どもが大切にされている…」と感じられている保護者がほぼ全員という結果に、職員一同喜びでいっぱいでした。

しかし、運営面に於いては課題もたくさんありました。職員の専門性を生かして地域への還元を考えたり、キャリアパスを意識した人材育成など、本社や園内で検討し見直しに取りかかりたいと思います。

今後も、いただいた評価に甘えることなく、子ども一人ひとりに応じた丁寧な保育を展開し、個々を大切にしながら愛着関係を深め、安心して園生活ができるように配慮してまいります。子ども達や保護者様にご満足いただけるように、職員全員で努力していく所存でございます。

横浜すきっぷ保育園

園長 成川 好子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり